

あなたの力が生きる文化のまち日立に!

元気なまち—それはオペラから

オペラは、出演者ばかりではなく、それを支える大勢のスタッフが長い時間を費やし創り上げていく総合芸術です。そしてオペラの公演はもちろんですが、オペラを創り上げる過程にこそ、面白さと大きな感動の種たちが散りばめられています。ひたち市民オペラは、その感動を得ながら、20年以上に渡り活動してきました。皆様もぜひ、一緒に感動の花を咲かせましょう!

これがメンバーの特典です

- 会員になると……
- ♡まちづくりの会の総会、行事に参加できます。
 - ♡オペラに関する情報や会報が送られてきます。
 - ♡コンサートなどのイベント案内があります。
 - ♡全国の仲間と知り合うチャンスがあります。

これが私たちの活動です

- 活動は……
- ♡オペラの普及イベントなどの開催
 - ♡オペラ普及のための広報
 - ♡情報誌発行のための取材・編集 など
 - ♡活動を推進するプロジェクトチームにも参加できます。



「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」へ加入をご希望の方は
下記事務局までご連絡ください。

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください
〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター
「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」事務局まで
TEL : 0294-24-7755
FAX : 0294-24-7979 E-mail : hall@civic.jp

Facebook ページ ぜひご覧ください!

編集後記

今年度の広報チームの活動は「オペラネットひたち」発行のほか、秋に集中的に行われました新企画のイベントに携わりました。ご寄稿くださった方、ご参加してくださった方々に感謝申し上げます。12月に開催された「ひたちオペラの日」は子どもオペラ学校開校から12年、今回素晴らしい舞台を演じてくれました。まさに「継続は力なり」です。これからも更なる成長した姿を見せて欲しいですね。世界中に拡大しつつあるコロナウイルス、ひとは今まで、持てる英知と努力によってあらゆる困難克服をしてきました。一日も早く安心して暮らせる日が来ることを祈ります。(M・T)

Opera Net Hitachi

オペラネットひたち 2020.3 Vol.16

発行：ひたち市民オペラによるまちづくりの会、公益財団法人日立市民科学文化財団



第22回ニューイヤーオペラコンサート ～華やかな 新年の幕開け～

日立の新春恒例ニューイヤーオペラコンサートが、1月18日(土)に日立シビックセンター音楽ホールで開催されました。“華やかな新年の幕開け”をコンセプトに音楽監督・指揮の松下京介さんと5人のソリスト、ひたちオペラ合唱団、ニューイヤーオペラアンサンブルの演奏で、全15曲を熱演しました。

開幕は賑やかにヴェルディ作曲《椿姫》より「乾杯の歌」を出演者全員で歌い、ビゼー作曲《カルメン》が続きました。そのほかにも、プッチーニ作曲《蝶々夫人》、ヴェルディ作曲《マクベス》など名作曲家の名曲が届けられました。

ソリストは、得意の1曲を堂々と披露し、アリアが終わったかと思うとデュエットやカルテット、また、オペラの一場面が登場など大忙しでしたが、舞台に出るとたちまち観客の心をつかみ、その声に、また演技に、観客席から「ブラヴォー」と大きな拍手が送られました。

モーツァルト作曲《魔笛》の1曲では、大蛇が登場し練り歩くと驚きと笑い、ほっとした空気が流れた場面がありました。合唱団男声有志とのコラボでした。

合唱団も練習を重ねてきたオペラの名曲を演技付きで歌い、オペラ合唱曲ならではのハーモニーを届けました。

今回のコンサートは、名作曲家たちの珠玉の名曲の数々を、出演者も、観客の皆さんも共に楽しみ、過ごした至福の2時間余りだったのではないのでしょうか。

お客様から「歌も演技も上手だった」「知っている曲が多く楽しめた」「帰りは、新都市広場のイルミネーションが美しく気分が良かったが、もう少し早い時間に終わって欲しかった」などの声がありました。

また、公演後にはオペラ関係者による「ニューイヤーを祝う会」が開かれました。ひたち市民オペラによるまちづくりの会秋山会長より日立市は、県内どこの市町村より元気なまちですとのお挨拶があり、参加者も大いに盛り上がり、活発な交流がありました。

出演ソリスト 小川 里美(ソプラノ)、岡部 恵美子(ソプラノ)、大津 香津子(メゾソプラノ)、相山 潤平(テノール)、清水 良一(バリトン)



これぞオペラの鑑賞法!

うたとお話で綴るオペラコンサートⅥ ～ワイン編～

日時 2019年10月14日(月・祝) 15:30開演

出演 清水 知子 (ソプラノ)、大津 香津子 (メゾソプラノ・ひたち市民オペラによるまちづくりの会副会長)、寺田 宗永 (テノール)、湯本 景子 (ピアノ)、小澤 浩 (日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート、ワイン検定認定講師)



10月14日、日立シビックセンター多用途ホールにて、「うたとお話で綴るオペラコンサートⅥ」が開催されました。ゲストとして日立で開催したオペラ《こうもり》に出演された清水知子さん、2004年ニューイヤーオペラコンサート「蝶々夫人ハイライト」に出演された寺田宗永さんの両ソリストをお招きし、副会長の大津香津子さんと小澤浩さんの進行により、ワインとオペラの関係を経験的なジョークを交えながらお届けする楽しい演奏会でした。

オペラとワイン。この切っても切れない関係を表すにふさわしいヴェルディのオペラ《椿姫》の「乾杯の歌」を機に、80名を超えるお客さんとの乾杯により演奏会が始まりました。イタリアオペラ、プッチーニの《ロミオとジュリエット》やドニゼッティの《愛の妙薬》から涙誘う有名なアリアが披露され、ワインによる酔いと相まって、お客さんのうっとりとした表情が印象的でした。

後半の部では、これまたイタリアを代表するマスカーニの《カヴァレリアスチカーナ》やプッチーニの《蝶々夫人》からの名曲が披露され、大きく余韻の残る音楽会でした。

“ワインを味わいながら”オペラを聴くという、日立のオペラでは経験したことのない今回の演奏会は、今後のオペラの楽しみ方の方向性を暗示しているように感じました。



提供ワイン：ヴェロネッロ ロッソ、ヴェロネッロ ピアノコ ノンアルコールワイン：ピエール・ゼロ メルロー、ピエール・ゼロ シャルドネ

食べて!飲んで!オペラを聴いて!

うたとお話で綴るオペラコンサートⅦ ～料理とオペラ編～

日時 2019年11月2日(土) 15:30開演

出演 岡部 恵美子 (ソプラノ)、大津 香津子 (メゾソプラノ)、相山 潤平 (テノール)、湯本 景子 (ピアノ)、原田 実能 (うのしまヴィラ館主・ひたち市民オペラによるまちづくりの会副会長)

11月2日、日立シビックセンター多用途ホールにて、「うたとお話で綴るオペラコンサートⅦ」が開催されました。まちづくりの会副会長の原田実能さんと、日立市出身テノール歌手の相山潤平さんの対話形式による司会進行により、地元ソリストの岡部恵美子さん、大津香津子さん、ピアノ伴奏湯本景子さんによる料理を食べながらのオペラコンサートが開かれました。

イタリアオペラの巨匠、ヴェルディの《椿姫》、プッチーニの《トゥーランドット》から有名なアリア、ビゼーの《カルメン》や子どもオペラでもなじみのあるドイツオペラ、モーツァルトの《魔笛》から“魔法の笛よ”などを数多く盛り込んだこのコンサートは集まったお客さんを十分に魅了しました。

今回コンサートの特徴は、“オペラと料理の美味しい関係”と銘打った、オペラの名曲演奏に加え、オペラと関連づけた料理を味わいながら演奏を楽しめた点に尽きるでしょう。

【オペラとのかかわりを身近に感じさせる料理として、市内3業者が用意したメニュー】
・モーツァルトの好みであったと言われるローズポークのタンブリング
・プッチーニの生まれたイタリア・トスカーナ地方の伝統的な前菜の盛り合わせ
・オペラ《蝶々夫人》から海軍士官ピンカートンに寄り添う婦人をイメージしたちらし寿司



踏み出そう! 次への新たな一歩 ひたちオペラの日 ～Rassembleur ラソブレ～

日時 2019年12月8日(日) 14:00 開演

日立で本格的な演奏としてニューイヤーオペラコンサートが初めて開催され、はや四半世紀になりました。市制60周年記念事業としてひたち(常陸)の歴史を基にした創作オペラ《水の声》の公演を機に、数多くのオペラによるまちづくり事業が展開されました。これまでの主なオペラ事業は、毎年1月に開催されるニューイヤーオペラコンサートをはじめ、野外オペラ、子どもオペラ学校そして市内各地でのオペラサロンなどがあげられます。

12月8日。ひたちオペラによるまちづくりの会に集約された活動関係者が一堂に会し、これまでのオペラ事業を振り返りつつ、次の新たな一歩を踏み出すイベントとして「ひたちオペラの日」が開催されました。

イベントは副会長の豊田郁央さんの司会進行によりスタート。最初に小さなオペラを創る子ども組によるオペラ《ヘンゼルとグレーテル》ハイライトが披露されました。次に、子どもオペラ学校に参加した経験を持つ“オペメン”メンバーによるオペラアリアと合唱の披露。子どもオペラ事業に関わる地元ピアニストによるピアノ連弾がありました。加えて、ゲスト出演されたソプラノの江口二美さん、ピアノの前田裕佳さんによるプッチーニの《蝶々夫人》と《トゥーランドット》アリアなどが歌われ、この催しに花を添えてくれました。締めくくりとして最後に登場したひたちオペラ合唱団によるオペラ合唱曲がイベントを最大限に盛り上げたことはいまでもありません。

また、ロビーでは子どもオペラ学校の成果発表会や野外オペラで身にまとった衣裳などが展示されました。まちづくりの会衣裳チームの市民スタッフにより手作りされたもので、オペラ事業に大きく貢献したことも強調しておかなければなりません。

250人を超える来場者の喜びの表情を目の当たりにして、この「ひたちオペラの日」が次年度以降の事業につながるイベントと位置付けられ、“ひたちオペラ”が大きく飛躍・前進してゆく確信を強くしました。



参加者の声

子どもオペラ学校OG 吉成 美里

私は、第1回・第2回子どもオペラ学校OG有志として、当時の仲間達と久しぶりに一緒に歌わせていただきました。社会人となり、それぞれに活躍していて会える時間も少なくなってしまっていたので、この機会をいただけてとても嬉しかったです。

初めて私がひたち市民オペラに参加したのは2005年だったので、野外オペラ《カルメン》に出演された、江口二美さんの歌声に懐かしさを覚えました。当時から今までの思い出を語り合う中で、これまで本当にたくさんの方々との出会い、支えていただいたからこそ今があることを再認識し、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

久しぶりの再会も、新たな出会いもあり、歌って泣いて笑って盛りだくさんの楽しい1日でした。またみんなで笑顔で集える日が来るように、これからも自分にできることを通してひたち市民オペラに関わっていきたくです。

